

# 自然と、ともに生きる。

平成28年熊本地震（以下及び裏面「熊本地震」）は、震度7の揺れが28時間以内に2度発生するという、観測史上例を見ない大規模災害で、死者273人、負傷者2,738人、住家被害約20万棟など、県内に甚大な被害をもたらしました。また、熊本のシンボルである熊本城は大きく傷つき、雄大な風景が魅力的な阿蘇地域も至る所で土砂災害が発生し、道路や橋が寸断されるなど、大きな被害を受けました。

県及び8つの市町村は、この熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承し、今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化を図るため、県内各地に点在する震災遺構や拠点を巡る回廊形式のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」の整備を進めています。

## 熊本地震の概要



・観測史上初めて、同一地域において震度7の地震がわずか28時間の間に2度発生した。

・発災から平成30年4月までの震度1以上の地震回数は4,400回を超えており、地震活動の長期継続による避難の長期化や車中泊などの避難所外避難者の増加を招いた。

	前震	本震
発生日時	平成28年4月14日21時26分	平成28年4月16日1時25分
地震の規模	M6.5	M7.3
震度7	益城町	益城町、西原村
震度6強	なし	熊本市、菊池市、宇土市、宇城市、合志市、大津町、嘉島町、南阿蘇村
震度6弱	熊本市ほか4市町村	御船町ほか10市町

## 人的被害・住家被害の状況

人的被害		住家被害	
死者	273人	全壊	8,657棟
直接死	50人	半壊	34,493棟
災害関連死	223人	一部損壊	155,186棟
重軽傷者	2,738人	計	198,336棟

（令和2年12月時点。※平成28年6月に発生した大雨による地震関連被害を含む）



熊本地震 震災ミュージアム  
Kumamoto Earthquake Museum

## 記憶の廻廊



熊本地震 震災ミュージアムホームページ  
<https://kumamotojishin-museum.com/>

熊本地震デジタルアーカイブ  
<https://www.kumamoto-archive.jp/>



熊本地震伝承公式アプリ「つなぐ」  
<https://www.kumamoto-tsunagu.com/tsunagu/>

ONE PIECE熊本復興プロジェクト  
<https://op-kumamoto.com/>



熊本県観光サイトもっと、もーっと!くまもっと。  
<https://kumamoto.guide/>

# 記憶の廻廊MAP



各QRコードを読み取ると、拠点の住所や詳しい説明などが記載されている特設ページが閲覧できます！



58件の震災遺構を保存しています。QRコードから震災遺構一覧を見ることができます。



## 1 くまもと市 熊本市

### 見える復興の歩み

熊本城は、重要文化財建造物や石垣などに甚大な被害を受け、復旧には20年の歳月が必要とされています。また、動植物園では、施設の被害に加え、一部の動物は県外の動物園への避難を余儀なくされました。

熊本城では、力強く復旧する姿を間近に見学できます。動植物園では復旧の道のりを写真パネルで展示しています。



お問合せ先

熊本市役所 ☎ 096-328-2111



熊本城



熊本市動植物園

## 2 うとし 宇土市

### 防災拠点の大切さと後世へ語り継ぐ災害への備え

宇土市では、地震により防災拠点である市庁舎が損壊し、一時的に行政機能が停止しました。防災拠点を失った状態で被災者支援や復旧対応を行った経験から、災害時に住民の生命を守る防災拠点の大切さを後世に語り継ぎます。

また、住民自身が日頃から災害に対する備えを意識できるよう自助、共助の大切さについても発信します。



お問合せ先

宇土市役所 ☎ 0964-22-1111



宇土市役所新庁舎



船場橋

## 3 うきし 宇城市

### 災害に強いまちづくりを目指して

宇城市では震度6に2回、1,500回近くの余震に見舞われ家屋などが倒壊した地区が続出しました。

一日も早い生活再建を目指して、災害公営住宅の建設や地域の防災拠点として市内6か所に防災拠点センターの整備を進め、災害に強く安全で安心なまちづくりを推進しています。



お問合せ先

宇城市役所 ☎ 0964-32-1111



松橋東防災拠点センター

## 4 みふねまち 御船町

### 歴史と震災の記憶を後世に

前震の震源地と言われている御船町は町全体の3割以上の世帯が半壊の被害を受けました。

休館を余儀なくされた御船町恐竜博物館や、一部崩落した八勢目鑑橋をとおして熊本地震の経験、教訓を伝えていきます。



お問合せ先

御船町役場 ☎ 096-282-1111



御船街なかギャラリー



やせめがねばし八勢目鑑橋

## 中核拠点

### 県防災センター(熊本市)

県庁の敷地内に建設予定の合築庁舎1階に、熊本地震の経験から得た教訓やノウハウを学ぶことができる展示室を整備します。

### 旧東海大学阿蘇校舎1号館・地表地震断層(南阿蘇村)

地震の被害がそのまま残る建物とその直下を貫く断層を見学することができます。隣には、地震のメカニズムや自然との共存の歴史などを体験しながら学べる展示施設を整備します(令和5年度完成予定)。



お問合せ先

熊本県庁 ☎ 096-383-1111



県防災センター



旧東海大学阿蘇校舎1号館・地表地震断層

## 5 ましきまち 益城町

### 「7×2」から伝えたいこと

一連の地震活動において観測史上初となる“震度7を2回”経験した益城町では、国指定天然記念物「布田川断層帯」3か所をはじめ、町内各地に震災遺構が点在しています。

これら震災遺構をとおして震災の経験や教訓を広く伝承し、災害における自助・共助・備えの大切さと地震との共存、災害と不可分にある自然の恵みについて伝えていきます。



お問合せ先

益城町役場 ☎ 096-286-3111



益城町役場新庁舎



国天然記念物「布田川断層帯」(杉堂)

## 6 にしはらむら 西原村

### 村を救った地域コミュニティ

西原村は、地震により家屋などに甚大な被害が発生しましたが、避難所運営、応急仮設住宅での生活、集落再生など様々なシーンで長年育まれてきた地域コミュニティが村を救い、復旧への後押しをしてきました。

地域コミュニティの大切さを発信するとともに、今後も防災力を高め、地域の力で復興を進めていきます。



お問合せ先

西原村役場 ☎ 096-279-3111



小森仮設団地B棟みんなの家



応急仮設住宅

## 7 みなみあそむら 南阿蘇村

### 南阿蘇村復興の軌跡

南阿蘇村の立野峡谷周辺では熊本地震を象徴するような大規模山腹崩壊や阿蘇大橋の残骸など、地震の爪痕を見学することができます。また旧長陽西部小学校では、プロジェクションマッピングを活用して熊本地震のメカニズムや阿蘇山一帯の被害状況、関連する阿蘇の大地の成り立ちを学ぶことができます。



お問合せ先

南阿蘇村役場 ☎ 0967-67-1111



旧長陽西部小学校



すぎる数鹿流崩れ(大規模山腹崩壊)

## 8 おおづまち 大津町

### 絆をつなげ!大津町

大津町は古くから交通の要所として栄えてきましたが、その交通インフラである鉄道、道路にも大きな影響を受けました。また、建物はもちろん、地域で護る文化財にも甚大な被害がでました。

しかし、被害を受けながらも先人たちの思いをつなぎ、立ち上る人たちがおり、地域の人々の絆と教訓を伝えていきます。

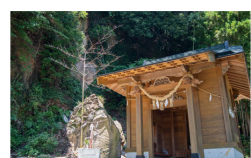


お問合せ先

大津町役場 ☎ 096-293-3111



大津町役場新庁舎



瀬田神社と巨石